# 海外安全対策情報(2014年10月~12月分)

在サンクトペテルブルク日本国総領事館

## 1 社会・治安情勢

当地では社会・治安情勢は比較的安定しているものの、ウクライナ問題を起因とした 抗議活動や民族主義団体等による集会・デモが行われ、治安当局による集会・デモ参加 者への拘束事案も少なからず発生しており注意を要する。

### 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 国家統計庁が発表した2014年1月から11月におけるサンクトペテルブルク 市及びレニングラード州の犯罪発生件数は51,932件,前年同期比102.4 %となっている。

犯罪種別の内訳は以下のとおり。

殺人(未遂を含む) 246件(前年同期比 111.3%)

重傷傷害 479件(95.2%)

強姦 56件(87.5%)

強盗 616件(95.1%)

略奪 2,224件(79.7%)

窃盗 21,569件(113.7%)

詐欺 2,221件(80.3%)

薬物不法取引 13,008件(97.1%)

当地における邦人窃盗被害の多くはスリであり、バスや地下鉄利用時や観光スポット周辺において狙われることが多いことから、公共交通機関の利用を避けたり、観光スポット周辺では身の回りに注意する等の防衛策が必要となる。

又,特異な事案として,単独の男性飲酒客を対象とした,ロシア人女性等による昏醉強盗容疑事件,及び窃盗(スリ)が一昨年から複数件発生していており,見知らぬ者との飲酒は避けるとともに,現金やカードの携行は必要最低限とし,数カ所に分けて携帯するなどリスク分散に配意する必要がある。

## (2) 邦人被害事案

- ア 10月中旬、出張者が深夜1人で飲食をしていたところ、ロシア人女性3名に「一緒に飲もう。」と声をかけられた。その後、この女性達とカラオケバーに行って一緒に飲んでいたところ、上着の内ポケットに入れていた財布(現金7000ルーブル、クレジットカード1枚在中)が無くなっていたことから周囲を検索したところ、一緒に飲んでいた女性から「落ちていた。」と財布を手渡されたが、現金がなくなっており、さらに後日、クレジットカードが不正使用されていたことが判明した。
- イ 11月上旬,旅行者がエルミタージュ美術館内で鑑賞中,いつのまにか上着のポケットから財布(現金1万ルーブル,クレジットカード3枚,キャッシュカード1枚,運転免許証等在中)が盗まれていた。その後,確認するとクレジットカードが約120万円程度不正に使用されていいた。
- ウ 11月上旬,在留邦人がサンクトペテルブルク市内のスポーツジムにて,クロークにコートを預けるため付近の椅子の上にカバンを置いたところ,いつのまににかカバン(財布(現金約2万ルーブル,スポーツクラブ会員証,名刺),携帯電話,自宅の鍵等在中)ごと盗まれた。
- エ 11月下旬,在留邦人が地下鉄「ゴスチーヌイ・ドボール」駅で電車に乗り込む際,複数の中央アジア系男性に囲まれ押し込まれた。男たちが降車して立ち去った後,確認すると上着の内ポケットから財布(現金1000円,1200ルーブル,クレジットカード1枚,デビットカード1枚等在中)が無くなっていた。その後,デビットカードから約7万円不正利用されてることが判明した。
- オ 11月下旬,在留邦人がイサク聖堂付近にてバスに乗車したところ,中央アジア系男性2人組が傍らに立ち体を密着してきた。その後,マリンスキー劇場前の停留所で2人組が降車した際,肩掛けポーチのチャックが開いており,中から財布(クレジットカード1枚,銀行キャッシュカード2枚在中)が盗まれていた。
- カ 12月上旬、在留邦人がリテイニー大通りからエルミタージュ美術館方向のト

ロリーバス(No. 10)に乗車していると、いつのまにか肩掛けバックのチャックが開けられ、中から貴重品袋(現金300ルーブル、日本国旅券、キャッシュカード2枚、クレジットカード1枚等在中)が盗まれていた。なお、車両内は非常に混雑していた。

- キ 12月下旬,在留邦人が地下鉄「サドバヤ」駅にて車両に乗り込もうとした際, 3人くらいのロシア人に囲まれてカバンから貴重品袋(パスポートコピー,査証 コピーなど在中)を盗まれた。
- ク 12月下旬、旅行者が当地滞在中、いつのまにか肩掛けのカメラバックから財 布 (現金2万円、クレジットカード3枚、キャッシュカード2枚、運転免許証、保険証在中)が盗まれていた。その後、確認するとクレジットカード1枚から約 25万円相当が不正に引き出されていた。
- ケ 12月下旬、旅行者がネフスキー大通り上を歩行中、いつのまにか、背負っていたリュックサックのファスナーが開いており、中から財布(現金4万円、1500米ドル、7000ルーブル、クレジットカード1枚在中)及び貴重品袋(日本国旅券、国際運転免許証等在中)が盗まれていた。

# (3) 邦人以外の被害事案

# ア 殺人・殺人未遂

- (ア) 1 1月上旬,市内ヴィボルグスキー区の共同アパート内で6 4歳の男性,及び 5 5歳女性の死体が発見された。死体には多数の刺し傷があり,カーペットで包 まれていた。
- (イ) 11月下旬,市内モスコフスキー区のホテル内にて26歳の外国人宿泊客が, 24歳の男性を刺殺した。犯人は逮捕された。
- (ウ) 12月上旬,市内フルンゼンスキー区にある車庫においてコカコーラ社の副社 長の死体が発見された。死体には背後から猟銃で撃たれた形跡があり、所持金及 び車両が奪われていた。この事件の犯人として46歳の男、および26歳のアゼ ルバイジャン国籍の男が逮捕された。

(エ) 1 2 月下旬,市内センナヤ広場にあるカフェにおいて客同士のケンカが発生し, 3 6 歳の中央アジア人男性が相手に向けてけん銃を発砲した。被害者は重傷を負った。

## イ強盗

- (ア) 10月中旬、市内ペテログラードスキー区のアパートに4人組の強盗が押し入り、家人であるイタリア国籍の男性に暴行を加え、現金110万ルーブルを奪い逃走した。犯人は後日、逮捕された。
- (イ) 10月下旬,市内カリーニンスキー区の路上にてウズベキスタン国籍の男がタクシー運転手に暴行を加え、現金1万5千ルーブル、携帯電話、宝飾品などを奪い逃走した。犯人は後日、逮捕された。
- (ウ) 1 1月上旬,市内モスコフスキー区の倉庫に2人組の強盗が押し入り,従業員の女性を脅して金庫及び同女性の宝飾品を奪い逃走した。犯人は後日,逮捕された。
- (エ) 1 1月中旬, 市内アドミラルチェイスキー区の携帯電話販売店に強盗が押し入り, 外傷性けん銃で店員を脅し金品を要求した。犯人は, 店員の通報によって駆けつけた警察官に逮捕された。
- (オ) 1 1月下旬,市内フルンゼンスキー区の路上においてタクシー運転手が乗客の 男性をタクシーから引きずり降ろし、2万5千ルーブルを奪い逃走した。
- (カ) 1 1 月下旬, 市内モスコフスキー区の売店に 2 人組の強盗が押し入り, 店員をけん銃様のもので脅し, 売上金 3 0 万ルーブルを奪い逃走した。
- (キ) 1 1月下旬、レニングラード州ロジェイノポリスキー区のある会社の事務所に 2人組の強盗が押し入り、従業員をけん銃様の物で脅し、5万7千ルーブルを奪 い逃走した。後刻、犯人の1人は逮捕された。
- (ク) 12月上旬,市内モスコフスキー区の路上にて強盗が、出前寿司の配達人をけん銃様の物で脅し、寿司を奪って逃走した。犯人は後刻、逮捕された。
- (ケ) 12月中旬,市内中央区の路上にて2人組の強盗が車に乗った男性に暴行を加え,車両及び携帯電話を奪い逃走した。犯人は後日,逮捕されたが,犯人のうち1

人は刑務官であった。

- (コ) 12月下旬,市内ヴィボルグスキー区のアパートに3人組の強盗が配達人を装って侵入し、家人である75歳の女性に暴行を加え、90万ルーブルを奪い逃走した。犯人は後日、逮捕された。
- (サ) 12月下旬,市内キーロフスキー区の路上にて強盗が歩行中の女性の足を刃物で刺し,携帯電話等が入ったカバンを奪った。強盗は、その数分後、別の女性から1000ルーブルを奪い、同女性の背中を刃物で刺して逃走した。後日、被疑者として31歳の中央アジア人男性が逮捕された。
- (シ) 12月下旬,市内モスコフスキー大通り沿いにあるホテルに強盗が侵入し,女性従業員を刃物で脅し,金庫から5万ルーブルを奪い逃走した。後日,犯人として35歳の無職男が逮捕された。

## ウ強姦

- (ア) 10月中旬,市内フルンゼンスキー区のアパートにおいて、学校帰りの10歳の少女が、玄関前にて何者かに催涙ガスを噴射され、エレベータに連れ込まれ強姦された。
- (イ) 12月中旬,市内ネフスキー区のアパート中庭において31歳タジキスタン国籍の掃除夫が23歳の女性に暴行を加え、強姦した。犯人は後日、逮捕された。

#### 3 テロ・爆発事件発生状況

- (1) 11月下旬、市内プルコヴォ空港において「爆弾を仕掛けた」旨の電話があった。 警察が空港内を警戒したが、不審者、不審物の発見には至らなかった。後日、虚偽の 通報により43歳の男が逮捕された。
- (2) 12月下旬,市内「ラドーシュキー」駅に爆弾が仕掛けられているとの通報に基づき、警察が同駅内、及び車両を確認したが、不審物の発見には至らなかった。後日、 虚偽の通報により46歳の無職女性が逮捕された。

### 4 誘拐•脅迫事件発生状況

特になし。

5 日本企業の安全に関わる諸問題 特になし。